

5月20日（月）第1回目の防災避難訓練を、休み時間中に火災が発生したと仮定して実施しました。生徒たちには、事前に避難訓練だとは知らせず、火災報知器が鳴った後、各自で出火場所を知らせる放送を落ち着いて聞き、出火場所を避けた経路を通して避難することを目的としました。

休み時間中、突然の火災報知機の報知音から訓練はスタート。生徒たちには動揺も少し見られましたが、近くにいる生徒たちと協力して、慌てず落ち着いてグラウンドへの避難を完了しました。

最後に、諫早消防署飯盛分署様より、日ごろの備えの重要性とともに、消火設備の使用方法についても知っておくべきとの講評をいただきました。

今年度も、諫早東高校は令和6年度学校安全総合支援事業の拠点校に指定され、防災・減災意識の向上や地域の防災力向上のための取組を行っています。今後も多くの取組をとって自助だけでなく、学校内外に共助の輪を広げていきたいと思えます。

